

なら生物多様性保全ネットワーク 通信

No. 4 平成27年 8月

「なら生物多様性保全ネットワークのつどい」開催のご報告

平成26年3月に設立した「なら生物多様性保全ネットワーク」の円滑な運営と会員同士の積極的な連携等を進めていくために、ネットワークの会員の皆様が集まる「なら生物多様性保全ネットワークのつどい」を8月10日に開催しました。

- 日 時 平成27年8月10日（月） 14時～16時
- 場 所 奈良商工会議所 5階 大ホール （奈良市登大路町36-2）
- 参加者 約60名

＝プログラム＝

活動発表：（1）「深野地域におけるササユリ保全活動」

深野ササユリ保存会 北森 義卿 氏



北森氏は、ご自分が住んでいる深野地域が、高齢化等により活力低下することを防ぐため、「深野〇〇会」を結成し、地域外からの訪問客を受け入れ「都市との交流」を掲げて、地域の景観維持・伝統行事の継承などの活動をしておられます。

中でも10年前から取り組まれている希少となったササユリの保護・増殖活動は、2013年に日本ユネスコ協会連盟の「未来遺産」として認定されました。現在も毎年6月にはササユリ鑑賞会が開催され、京阪神から多くの方が参加されています。これらの活動を通じてたくさんの人が訪れる「いやしの里 深野」を目指しておられます。

活動発表：（2）「生物多様性ならプロジェクト」

奈良県立御所実業高等学校
環境緑地科 生物多様性の保全研究班
教諭 吉田 宏 氏



御所実業高等学校で教諭をされている吉田氏は、生物多様性の保全研究班の指導者として生徒の皆さんとともに、生物多様性の保全活動を積極的に行っておられます。

研究班は「身近な新発見を楽しもう」をモットーとしており、絶滅危惧種のオグルマや絶滅寸前種のヒメユリの保全活動、外来種であるジャンボタニシの駆除試験、虫いっぱい里山づくり隊への参加等、調査研究から野外活動まで活動は多岐に渡っています。それらの身近な地域での生物多様性の保全活動を通して「奈良の自然はいいな」と思う子どもたちが育つことにより、地域とのつながりも深まるとの思いを語られました。

講演：「生物多様性の保全について－魅力的な生きものを守るとはどういうことか－」

近畿大学農学部環境管理学科
教授 細谷 和 海 氏



細谷氏は、魚類学、系統分類・自然保護論を専門とされ、淡水魚の分野から外来種、水田生態系の保全まで様々な分野で活躍されています。

生物多様性について、遺伝的多様性・種多様性・生態系多様性の3つのレベルがあるということ、生物多様性には在来の生物が豊かであることが重要であり、特に外来種は生物多様性にとって最大の脅威となること、など丁寧に解説していただきました。また、生物の保護の手法においては、保全・保存等の情報提供や連携協力を行いつつ、社会啓蒙により理解を深めることが重要であることを説明していただきました。最後に、行政・研究者・市民が三身一体となり生物の保全を進める必要があるとお話して下さいました。

※当日の様子は、奈良テレビ「県政フラッシュ」で紹介され、県民の皆様にも広く周知していただきました。

開催にあたり、参加していただいた会員の方々、ネットワークを代表してご挨拶いただいた前田様、発表・講演していただいた北森様、吉田様、細谷様どうもありがとうございました。

今後も、会員の方々が集う機会を設けていく予定ですので、その際はぜひご参加下さい。

ネットワーク会員の募集について

現在、ネットワークには79団体の方々に参加していただいております。今後もネットワークの更なる拡充に向けて、事務局ではネットワーク会員を随時募集しております。県内において皆様と同じような活動をされているネットワークに未加入の団体をご存じでしたらご周知下さい。なお、ネットワークの概要は、奈良県 景観・自然環境課のホームページ(<http://www.pref.nara.jp/34867.htm>)に掲載されています。

事務局から

生物多様性に関する情報や皆様の活動取組、イベント情報等を会員の皆様に発信しています。開催されるイベント情報等がありましたら、事務局までご連絡下さい。案内させていただきます。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ なら生物多様性保全ネットワーク 事務局 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

奈良県 暮らし創造部 景観・環境局 景観・自然環境課 自然環境係
〒630-8501 奈良市登大路町30
TEL : 0742-27-8757 FAX : 0742-22-8276
E-mail : ikimono@office.pref.nara.lg.jp